



青葉 10月

学校情報アップデート

副校長 高城 剛

最近、テレビの情報バラエティ番組で「今はこうなっています」という内容が時々放送されています。最新の研究や新しい発見の結果「645年の大化の改新は乙巳の変と習うんだよ」「鎌倉幕府の成立は1192（イイクニ）年ではなく1185年だよ」「西郷隆盛の肖像画は本人を描いたものではないんだよ」など、自分が習ったことがいつの間にかアップデートされていることに驚きながら楽しんでいきます。

多くの方にとって小学校に関する情報は、ご自身の小学校時代の記憶と現在お子さんが通っている学校のものだと思います。今回は最近の小学校の様子をお伝えしたいと思います。

小学校の1クラスあたりの児童数の上限は、令和4年度については、1～3年生が35人、4～6年生が40人となっています。来年度は1～4年生が35人学級となり、今後1年ごとにすべての学年が35人学級に移行していきます。1クラスの人数が減るのは一人ひとり丁寧に見ていく意味で大変有効なことです。

また、保護者の方が子どもたちには配置されていなかった職員が様々な場面で学校の教育活動を支えています。10年ほど前から児童支援専任が配置され、学校全体の児童を見守り、安心安全な学校づくりの中心として活躍しています。外国語活動・外国語科には外国人講師のAETやIUIが配置され、英語を用いた言語活動や異文化理解が豊かになっています。学校司書が図書選定、図書室のレイアウト、貸出業務、授業のための図書準備などに取り組み、図書室の環境が格段にアップしました。読書好きの児童も多くなり1日100冊以上の貸し出しがある日もあります。理科支援員が理科室の環境づくりや実験の準備・片付けを行うことにより、実験の安全性が高まり、理科の授業が充実しています。GIGAスクール構想が始まり、ICT支援員が配置され情報機器の環境整備や授業改善に力を注いでいます。職員室業務アシスタントは職員室での連絡受付や印刷業務などを担い、職員の作業時間の軽減と児童と関わる時間の確保に努めています。現在は毎日の消毒作業も行っています。学校カウンセラーが月3～4回来校して、カウンセリングを行っています。子育ての悩みがある方は学校にお電話をいただければ予約を受け付けています。

授業風景も変わってきました。昨年度よりiPadを使った授業が始まりましたが、子どもたちの吸収する速さには驚きます。教師側から一斉に資料や問題を送信したり、クラスみんなの考えを大型モニターに映して話し合ったり、学習のまとめをiPadの中で作成して教師に提出したりと、有効に活用している様子が見られます。体育の授業では動画に撮って確認し、よりよい動きを目指すためのツールとして活用しています。

学校の姿は変化していますが、変わらない姿もあります。毎朝、気持ちの良いあいさつをしてくれる子どもたち。休み時間に汗をかいて元気に遊ぶ子どもたち。グループで協力してそうじを進める子どもたち。一生懸命新しいことに挑戦する子どもたち。まさに社会の宝です。社会の変化の中で、学校もよりよい学びの場として変わり続けていかなければなりません。これを機会に「お父さんやお母さんのころの小学校はね・・・。」と親子で話題にいただければ幸いです。